		突出物の状況	目視により確認する。	令第百二十九条の七第五号の規定に適合しないこと又は保護措置に係る部品等に変形、損傷等があること。
	(十三) 駆動装置の主索保護カバー（機械室を有しないエレベーターに限る。）	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
	(十四) かごの枠	かごの枠材相互の取付けの状況	テストハンマーによる打検等により確認する。	ナットに緩みがあること。
七 非常用エレベーター	(一) かご呼び戻し装置	作動の状況	乗り場及び中央管理室のかご呼び戻し装置を操作し、かご及び乗り場の呼びが取り消され、かご内に設けられた非常停止スイッチの機能が停止することを確認する。	令第百二十九条の十三の三第七項の規定に適合しないこと。
		取付け及び操作の状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は操作が円滑に行えないこと。
	(二) 一次消防運転	作動の状況	作動の状況を確認する。	一次消防運転をしないこと又は乗り場の呼びに応答すること。
		取付け及び操作の状況	目視及び触診により確認する。	スイッチの取付けが堅固でないこと又は操作が円滑に行えないこと。
		最下階床面以下のスイッチの切離し又は防滴処理の状況	スイッチ等に防滴処理がされていない場合は一次消防運転モード時の信号入力を制御器で正しく処理されているか確認し、スイッチ等に防滴処理がされている場合はその外観を目視により確認する。	信号が入力されても作動しないこと。ただし、防滴処理がされている場合は、防滴処理が適切に施されていないこと。
	(三) 二次消防運転	作動の状況	作動の状況を確認する。	令第百二十九条の十三の三第九項の規定に適合しないこと、通常時の戸閉時間と同程度の間ブザーが鳴動しないこと、通常時の戸閉時間内で起動すること又はかごの戸若しくは乗り場の戸を開いた状態で運転をしないこと。
		取付け及び操作の状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は操作が円滑に行えないこと。
		最下階床面以下のスイッチの切離し又は防滴処理の状況	スイッチ等に防滴処理がされていない場合は二次消防運転モード時の信号入力を制御器で正しく処理されているか確認し、スイッチ等に防滴処理がされている場合はその外観を目視により確認する。	信号が入力されても作動しないこと。ただし、防滴処理がされている場合は、防滴処理が適切に施されていないこと。
		速度の状況	瞬間式回転速度計により測定する。	令第百二十九条の十三の三第十一項の規定に適合しないこと。
	(四) 予備電源切替え回路	作動の状況	予備電源回路に切り替え、作動の状況を確認する。	作動が確実でないこと。
	(五) その他	中央管理室とかごの連絡装置の設置及び作動の状況	通話状態が良好か確認する。	令第百二十九条の十三の三第八項の規定に適合しないこと又は通話が確実でないこと。
		かご及び昇降路の可燃物の状況	目視により確認する。	令第百二十九条の十三の三第四項の規定に適合しないこと又は平成十二年建設省告示第千四百二十八号第一若しくは第二の規定に適合しないこと。
		ピット内の水に浮く物の状況	目視により確認する。	ピット内の水に浮く物があること。
		防滴処理の状況	目視により確認する。	機器の防滴処理が適切に施されていないこと。

別表第二

	(い) 検査項目	(ろ) 検査事項	(は) 検査方法	(に) 判定基準
一 機械室（機械室を有しないエレベーターにあっては、共通）	(一) 機械室への通路及び出入口の戸	機械室の戸の設置及び施錠の状況	設置の状況を目視により確認し、施錠の状況は戸を解錠及び施錠して確認する。	令第百二十九条の九第四号の規定に適合しないこと又は解錠若しくは施錠ができないこと。
		手すりの位置及び取付けの状況	目視及び触診により確認する。	令第百二十九条の九第五号の規定に適合しないこと又は取付けが確実でないこと。
		機械室への通路の状況	機械室までの通路において、高さ又は幅員が最小となる箇所及び障害物がある箇所を目視により確認し又は測定する。	通行経路の寸法が高さ一・八メートル未満又は幅〇・七メートル未満であること。